株式会社 ホーマーイオン研究所
東京都渋谷区神泉町17番2号
お客様相談室 フリーコール 0120-084239（オハヨーニサンキュウ）

※商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがありますのでご了承ください。

HI-h13M-3-01

AUTO Tens PRO
Rehabili Unit

オートテンズプロ　リハビリユニット

取扱説明書

HOMER ION

保証規定

1. 機器本体の保証期間は、「お買い上げ後2年間」で付属品を除きます。
   ご使用中万一故障が発生した場合は、お買い上げ店または製造元へ保証書を添えて修理をご依頼ください。
2. 下記の場合は、保証期間中でも有償になりますのでご注意ください。
   イ) 取り扱いの過誤により発生した故障。
   ロ) 製品を改造したり、不当な修理により発生した故障。
   ハ) 火災·地震·水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
   ニ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   ホ) 保証書のご提示がない場合。
3. 本規定によりお客様の権利を拘束するものではありません。
4. 修理などで生じた送料などの諸経費は、お客様のご負担となります。
5. 本規定は日本国内でのご使用に対して規定するものです。

この製品には、保証書を別途添付しています。
保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

株式会社 ホーマーイオン研究所

アフターサービス

1．修理を依頼される前に

① 本機器は、工場において厳格なテストを行っていますが、万一故障と思われたときは、5ページの「機器の準備」および、19ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度ご確認ください。
② 故障またはご不明と思われる場合は、販売店またはもよりの営業所へ申しつけください。
③ 修理を依頼される時は、次のことにご注意ください。
a) 故障場所と状況を明記してください。
b) 修理点検後の製品送付先（住所、氏名、電話番号）を明記してください。
c) 保証書を必ず添付してください。

修理お問い合わせ先：株式会社ホーマーイオン研究所　お客様相談室
フリーコール 0120-084239

修理品送付先：株式会社ホーマーイオン研究所　西東京工場
住所／東京都日野市万願寺4-22-8　電話／042-584-5132

2．付属品

付属品は、状況に応じて交換が必要です。購入先（保証書に明記された販売会社）または製造元にご注文ください。送料は実費をご負担ください。
ご注文の際は、使用されている機器の型名（オートテンズプロ）とお知らせください。

●付属品価格

部品名	数量	価格	
		大	小
温熱導子	1個	9,450円	9,450円
導子用消耗品セット	1セット	2,625円（セット内容：布枠・スポンジ 電極シート／各、大1個 小2個）	
ベルト	1本	2,100円	945円
ベルト電極 腰	1本	21,000円	
ベルト電極 大	1本	11,550円	
ベルト電極 小	1本	6,720円	

※下記の価格は税込価格です。

温熱導子構成部品交換時期の目安

1. 導子用消耗品セット
（布枠・スポンジ・電極シート）
[年1回交換（消耗品）]

2. 導子本体
[約500時間(消耗品)]

※ 上記の期間は目安です。使用状況によって耐用期間は異なりますので、汚れ、摩耗など部品の状態を含め、**導子本体は治療に必要な出力を得れなくなった時点**での交換をお勧めします。

目　次

機器本体と付属品名称 …… 3
操作パネル面 …… 4
操作方法① ベルト電極を使用する場合 …… 5～9
操作方法② 導子を使用する場合 …… 10～18
故障かな？と思ったら …… 19～20
アフターサービス …… 21
保証規定 …… 22

機器本体とリハビリユニット及び付属品名称

① 機器本体	1台	⑧ リハビリユニット	1台
付属品		付属品	
② 導子セット		⑨ 本体接続ケーブル	1本
+導子(大)	1個	⑩ 導子接続コード	2本
−導子(小)	2個	⑪ ベルト電極　腰	1本
③ 導子ベルトコネクター	3個	⑫ ベルト電極　大	2本
④ 導子コードキーパー	2個	⑬ ベルト電極　小	2本
⑤ 予備ヒューズ(1A)	1本	⑭ 水差し	1個
⑥ ベルトセット			
大(90×1200㎜)	1本	添付文書	1枚
小(45×1000㎜)	2本	取扱説明書	1冊
⑦ 本体ビニールカバー	1枚	保証書	1枚

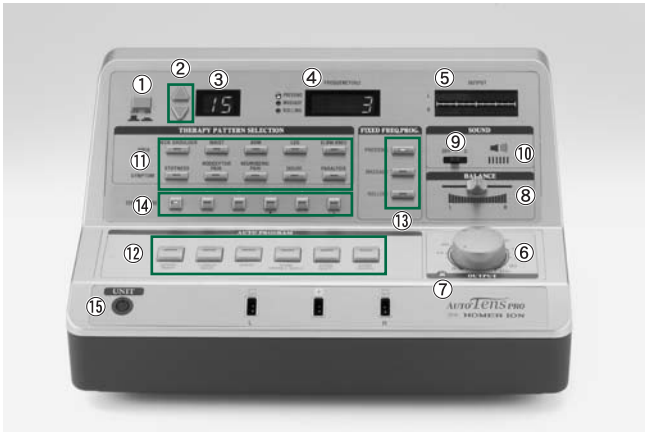
治療出力調整ツマミが「START」の位置から開始していない	バランス調整ツマミの操作が悪い	音声スイッチが[OFF]になっている	タイマーが終了している	[TEMPERATURE]が[OFF]になっている	[TEMPERATURE PATTERN SELECTION]が設定されている	[AUTO PROGRAM]が設定されている	導子と皮膚が密着していない	導子コードが切れかかっている	導子と本体のとの接続が不完全である	導子の不良・劣化
●			●				●	●	●	●
							●	●	●	●
		●					●		●	●
	●									
						●				
				●				●	●	●
		●								
治療出力調整ツマミを「START」の位置から開始していない	中央付近にセットし、もう一度確認作業をする	治療音声スイッチを[1]または[2]にする	確認する	使用方法の13ページ参照	使用方法の12ページ参照	使用方法の15ページ参照	治療音声スイッチを1または2にする	導子コードを軽くねじってみる	正しく接続する	他の二つの導子などにより確認する

故障かな？と思ったら

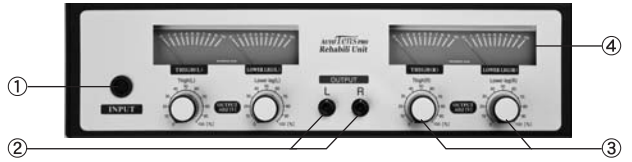
原　因	電源コードを本体に差し込んでいない	電源スイッチを入れていない	入力ヒューズの断線	導子の水不足	導子コードの断線
電源が入らない	●	●	●		
治療出力が出ない				●	●
治療出力が出たり、出なかったりする				●	●
治療出力のバランスがとれない				●	
治療出力の調整ができない（本体）					
タイマー設定スイッチを押しても時間設定ができない					
導子が暖かくならない				●	●
治療音声が鳴らない					
処理の方法	確認をする	使用方法の頁参照	電源コードを抜いてから予備を交換する	使用方法の頁参照	他の二つの導子などにより確認する

操作パネル面

本体装置



リハビリユニット



本体装置

POWER 電源
① 電源スイッチ　[ON : 入][OFF : 切]
TIME タイマー
② タイマー設定 [▲][▼]
③ タイマー表示
FREQUENCY(Hz) 周波数
④ 周波数表示
OUTPUT 出力
⑤ 出力表示
⑥ 治療出力調整ツマミ
⑦ 治療出力表示灯
⑮ 治療出力端子　[−L][+][−R] ※極性表示
BALANCE
⑧ バランス調整ツマミ
SOUND 音声
⑨ 音声スイッチ [OFF : 切] [1 : 弱] [2 : 強]
⑩ 治療音声
THERAPY PATTERN SELECTION
治療パターン選択
⑪ 治療パターン選択スイッチ
〈AREA : 部位〉
[NECK・SHOULDER:首筋・肩]
[WAIST : 腰]　[ARM :上肢]　[LEG :下肢]
[ELBOW・KNEE : 肘・膝]
〈SYMPTOM : 症状〉
[STIFFNESS : 筋緊張]
[NOCICEPTIVE PAIN: 侵害受容性疼痛]
[NEUROPATHIC PAIN: 神経因性疼痛]
[DISUSE : 廃用]
[PARALYSIS : 麻痺]
AUTO PROGRAM オート治療プログラム
⑫ オート治療プログラム選択スイッチ
[UPPER BODY :上半身]
[LOWER BODY :下半身]
[METABO : 代謝]
[DISUSE SOFT: 廃用ソフト]
[SPINE(SOFT) : 脊髄 (ソフト)]
[SPINE(HARD) : 脊髄 (ハード)]
FIXED FREQ.PROG 自由選択
⑬ 自由選択スイッチ
[PRESSING : たたく・おす]
[MASSAGE : もむ]
[ROLLING : ローリング]
TEMPERATURE 温度調整
⑭ 温度調整選択スイッチ
[OFF : 切] [1〜4] [QUICK:急暖]
⑮ UNIT
リハビリユニットとの接続端子

リハビリユニット

INPUT
① 本体との接続端子
OUTPUT
② 治療出力端子　[L][R]
Thigh（大腿）・Lower leg（下腿）
③ 治療出力調整ツマミ
④ 治療出力レベルメーター

操作方法 1 ベルト電極を使用する場合

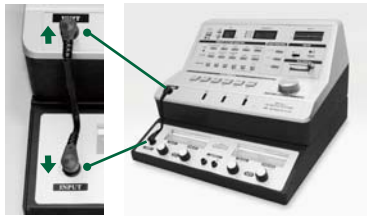
ベルト電極を使用する場合

使 用 目 的

- 下肢全体の筋力強化(筋トレ運動)
- 下肢運動によるエネルギー代謝(有酸素運動)
- 下肢全体の痙性抑制

機器の準備

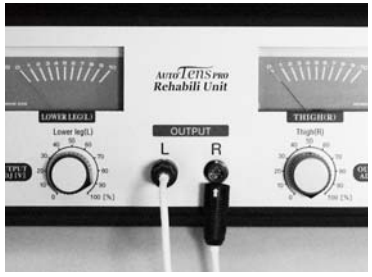
1 リハビリユニットの準備



1.
オートテンズプロをリハビリユニットの上に乗せます。

▶ リハビリユニットの本体接続ケーブルをオートテンズプロのコネクタに接続させます。

▶ オートテンズプロ裏面のコードボックスから電源コードを引き出し、コンセント(AC100V)に差し込みます。治療出力調整ツマミの位置を「START」にします。



2.
OUTPUTに導子接続コードを接続させます。

2 ベルト電極の準備

1.
付属品の水差しを使用し、ベルト電極(腰・大・小)にぬるま湯、または水を十分に中まで浸透させしずくが落ちない程度にします。

治療例

筋緊張の緩和・侵害受容性疼痛・神経因性疼痛

1 導子の装着

⊕を神経根(首・腰) ⊖を疾患部位の直上
(※アロディニアがある場合は発症していない神経直上)

2 部位と症状のモードを選択
状態や疼痛の原因に応じてモードを選択する。
(※同一患者でも実施日の状態に合わせ変更する)
(写真)左から、
NECK・SHOULDER | WAIST | ARM ➡ 各症状選択

STIFFNESS 筋緊張 | NOCICEPTIVE PAIN 侵害受容性疼痛 | NEUROPATHIC PAIN 神経因性疼痛

3 出力強度
治療出力は気持ちよく感じるところで実施。
神経因性疼痛の場合は感覚閾値程度の弱めに実施する。

選択的筋力強化

1 導子の装着

筋強化する筋の起始・停止点

2 部位と症状のモードを選択
(写真) LEG ➡ DISUSE 廃用

3 出力強度 モードの選択と負荷強度について参照

単部位の痙性抑制

1 導子の装着

⊕を神経根(首・腰)⊖を筋緊張している拮抗筋

2 部位と症状のモードを選択
(写真) ARM ➡ PARALYSIS 麻痺

3 出力強度 痙性拮抗筋の収縮が得られる程度の強さ

麻痺(促通法)

1 導子の装着

各モーターポイントと筋腹に導子置く
⊕をモーターポイント ⊖を筋腹

2 部位と症状のモードを選択
(写真)左から、ARM | LEG ➡ PARALYSIS 麻痺

3 出力強度 随意収縮以上の収縮が得られる強さ

①電気刺激(他動運動)
②自動運動+電気刺激+促通法
電気刺激により神経や筋に刺激を入れながら随意的に動かす。

治療終了後

1 治療終了

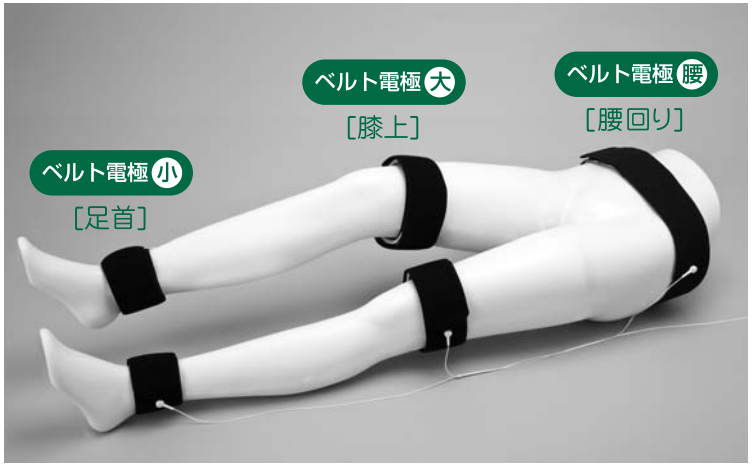
治療出力調整ツマミを「START」の位置に戻します。

2 本体と導子の保管

本体と導子を保管します。治療が終了した後、導子は軽く水洗いし、スポンジの水分を充分絞り出し、風通しの良いところに保管してください。

治療器本体は、ホコリを避けるため必ずビニールカバーをかけて保管してください。

2. ベルト電極を下図のように巻き、導子接続コードとベルト電極を接続させます。



ベルト電極(小)のホック位置の特長

ベルト電極（腰・大）は全体的に均一な電位分布となりますが、ベルト電極（小）は、導子接続コードと電極の接続するホック位置が最も電位分布が高くなります。優位に出力を高めたい部位（前脛骨筋推奨）にホック位置を合わせてください。

治療時の姿勢の特徴

下肢全体に安定した出力を得るために、治療は臥位にて実施してください。筋収縮は筋が短縮していると強く。伸張していると弱くなります。目的の筋を収縮させたい場合は、それぞれに合う姿勢にて、実施してください。

3 電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にしますと、電子音が“ピィ”と鳴り、タイマー表示は 10 が表示され、[AUTO PROGRAM]の UPPER BODY が自動的に選択されます。

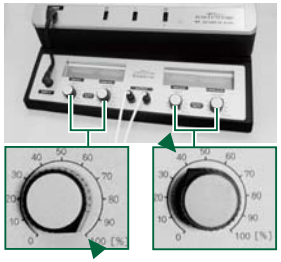
操作方法 1 ベルト電極を使用する場合

ご使用方法

1 治療モードを選択

オートテンズプロの治療モード LEG・DISUSE（下肢・廃用）DISUSE SOFT（廃用ソフト）、METABO（代謝）を目的に応じて選択します。

2 出力調整ツマミを調整



分岐装置の出力調整ツマミを

- Thigh（大腿）
  → 100%
- Lower leg（下腿）
  → 40%～50%

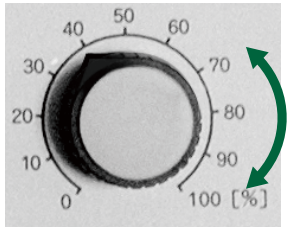
に合わせます。

3 治療出力調整（全体）

オートテンズプロの治療出力調整のつまみを回します。DISUSEでは周波数が20Hzになった段階で最終的な出力強度を調整してください。

▶ 出力強度は基本的に不快に感じない最大の強さに合わせます。

4 治療出力調整（個別）



分岐装置の出力調節ツマミを使い、左右のThigh（大腿）の出力を調整し、その後にLower leg（下腿）の強さを調整します。

[FIXED FREQ.PROG]による治療

[FIXED FREQ. PROG]の設定方法

1 治療の選択

治療の選択をする前に、治療出力調整ツマミを「START」の位置にあわせてください。
[FIXED FREQ.PROG]には、PRESSING MASSAGE ROLLING の3つの選択ボタンがあります。各ボタンは周波数が決められており、同じボタンを繰り返し押すごとに周波数が変化します。さらに押しつづけると初期値に戻り繰り返します。

※ [FIXED FREQ.PROG]ではPRESSING、MASSAGE、ROLLINGのモードおよび周波数を治療中に変更することができます。

周波数対応表

[FIXED FREQ.PROG]の周波数設定はボタンを押すごとに下図のように変化しますので、治療目的に応じて選んでください。

PRESSING

3Hz → 7Hz → 10Hz → 20Hz → 30Hz → 50Hz → 100Hz → 250Hz → 500Hz → 1000H

MASSAGE

7Hz → 10Hz → 20Hz → 30Hz → 50Hz → 100Hz → 250Hz → 500Hz → 1000H

ROLLING

3Hz → 7Hz → 10Hz → 20Hz → 30Hz → 50Hz → 100Hz → 250Hz → 500Hz

2 タイマー

タイマーは最長の15分がセットされます。

[TIME]のタイマー設定スイッチを押すと、1分単位で時間を減らすことができます。

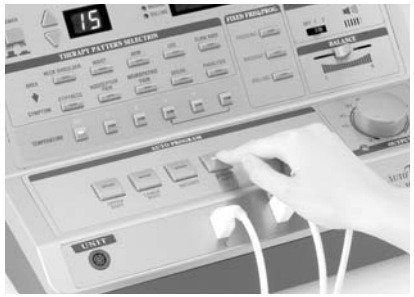
タイマー設定スイッチは、逆に1分単位で15分まで増やすことができます。
治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が1分以下になると1秒単位で表示されます。

操作方法 2 導子を使用する場合

[AUTO PROGRAM]による治療

[AUTO PROGRAM]の設定方法

1 治療の選択



治療の選択をする前に、治療出力調整ツマミを「START」の位置にあわせてください。
[AUTO PROGRAM]には、全部で6つの治療パターンがあります。電源を「ON」にすると自動的に UPPER BODY のランプが点灯し、治療出力調整のツマミを回せばすぐ治療に入れます。
他に LOWER BODY METABO DISUSE SOFT SPINE (SOFT) SPINE (HARD) があります。

※ [AUTO PROGRAM]では、治療中に治療パターンの変更はできません。

[AUTO PROGRAM]の使用目的

UPPER BODY (10分) 上半身の筋緊張緩和	DISUSE SOFT (20分) 廃用性筋萎縮を改善・予防
LOWER BODY (10分) 下半身の筋緊張緩和と除痛	SPINE(SOFT) (15分) 精神的な疲れを癒す、リラックス
METABO (20分) エネルギー代謝	SPINE(HARD) (15分) 神経的な活性を促す

2 タイマー

タイマーは、あらかじめ決められた時間がセットされます。

METABO DISUSE SOFTでは、治療前に[TIME]のタイマー設定スイッチ▼を押すと、5分単位で時間を減らすことができます。タイマー設定スイッチ▲は逆に5分単位で50分まで増やすことができます。その他組み合わせでは、時間の変更は出来ません。

治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が1分以下になると1秒単位で表示されます。

モードの選択と負荷強度について

モード	リハビリ内容	強 度
LEG・DISUSE 下肢・廃用	「筋力トレーニング」 20Hzの連収縮で筋の強縮を5秒間行い、2秒間休止するパターンを繰り返します。最も負荷強度が高い筋強化のモード	強
DISUSE SOFT 廃用ソフト	「筋力トレーニング」 20Hzの連収縮で筋の強縮を3秒間行い、2秒間休止するパターンを繰り返します。DISUSEモードで呼吸を止めてしまう患者にも対応可能な筋力トレーニングのモード	中
METABO 代謝	「有酸素運動」 4Hzの筋の単収縮を行います。エネルギー代謝や糖代謝の促進を目的とした運動の代用モード	弱

治療時間は5分単位で調整できます。

漸増的強度

- 出力強度は出力レベルメーターで電流値を確認し基本的に不快に感じない最大限の強さに合わせます。治療開始時 → 治療2日目 → 3日目と前回の電流値以上に出力を徐々に上げ、漸増的に運動負荷強度を上げるようにしてください。
- 筋萎縮の著しい方、電気刺激に慣れていない方は、METABOモードから慣らすと導入しやすいこともあります。

リハビリユニット接続時には、下記のパターンのみ選択してください。

※ オートテンズプロの電源スイッチを「ON」にした時には、自動的に「UPPER BODY」が初期選択されています。

- AUTO PROGRAM(オート治療プログラム) → 「METABO」「DISUSE SOFT」
- THERAPY PATTERN SELECTION(治療パータン選択) → 「ARM-DISUSE」「LEG-DISUSE」

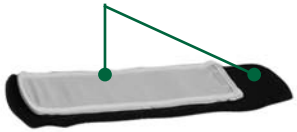
⚠ 注 意

リハビリユニット使用時は指定されたパターン以外は選択しないでください。
機器の故障の原因となります。

操作方法 1 ベルト電極を使用する場合

使用後のベルト電極のお手入れ方法

グレーの電極部を
黒いベルトから取り外す



グレーの電極部を黒いベルトから取り外し除菌・洗浄することが出来ます。定期的な除菌・洗浄と使用毎のアルコールの噴霧による殺菌後の保管をお勧めいたします。

注意：使用の際にはグレーの電極をベルト部に戻し、ホックを必ず止めるようにしてください。

【除菌・洗浄方法】

① 除菌洗浄剤（推奨品：医療施設用クリンキーパー[花王社製]の場合、50倍希釈）溶液を用意します。
② 電極部は8時間程度を目安に溶液に浸します。
③ 電極部を溶液から出し、充分にすすぎます。

4 治療音声

[SOUND]の音声スイッチは、本機器出荷時に 1 がセットされています。
音の大きさは 1 2 及び無音の OFF があります。
電源投入時に「ピィ」と鳴り、各種の操作ボタンを押したときはメロディが鳴り、内容が変更されたことを知らせます。
[THERRAPY PATTERN SELECTION]の<SIMPTOM>で DISUSE PARALYSIS 及び [AUTO PROGRAM] の DISUSE SOFT を選択した場合、治療中は周波数に同期した音が鳴ります。

5 治療開始

1. 治療出力調整

治療出力調整ツマミは、必ず「START」の位置からご使用ください。出力は徐々に強くし、気持ちの良い強さにします。はじめ、少し強く感じるところまでツマミを回し、少し戻した位置が適切な強さです。

治療が終了したら、必ず「START」の位置に戻してください。部位によっては筋肉の運動が起こるまでツマミを回してください。

2. バランス調整

身体の状態により、左右の（－）導子の治療出力に違いがあるときは[BALANCE]を使用します。

バランス調整ツマミを左右に移動して、強さが同じになるように調整します。

[THERAPY PATTERN SELECTION]の設定方法

1 治療の選択

治療の選択をする前に治療出力調整ツマミを「START」の位置にあわせてください。

始めに〈AREA〉の NECK・SHOULDER WAIST ARM LEG ELBOW・KNEE を目的に応じて押します。
この時、〈SYMPTOM〉の選択可能なランプが点滅状態になります。

次に〈SYMPTOM〉の STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHICPAIN DISUSE PARALYSIS を目的に応じて押すと、そのスイッチが点灯に変わり、他のスイッチは消灯します。

注意：〈AREA〉を選択した後に必ず〈SYMPTOM〉を選択してください。〈SYMPTOM〉を選択しないで治療出力調整ツマミを回すと「ピィピィピィピィ」と警告音がなります。

※ [THERAPY PATTERN SELECTION]では、治療中に組み合わせパターンの変更はできません。

※ PARALYSIS 選択時の自動出力極性切替機能について
〈SYMPTOM〉の選択を PARALYSIS にすると、治療出力端子の中央が−極性に、左右が+極性に自動的に切り替ります。

2 タイマー

タイマーはあらかじめ決められた時間がセットされます。「ARM→DISUSE」「LEG→DISUSE」の組み合わせでは、治療前に[TIME]のタイマー設定スイッチ▼を押すと、5分単位で時間を減らすことができます。タイマー設定スイッチ▲は逆に5分単位で50分まで増やすことができます。その他組み合わせでは、時間の変更は出来ません。
治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が１分以下になると1秒単位で表示されます。

3 温度調整

電源スイッチを「ON」にした時、[TEMPERATURE]は OFF の状態です。

使用時の季節や室温の状態により[TEMPERATURE]は5段階に設定することができます。標準的には 3 を選択して使用してください。

また、早く導子を暖めたい場合は QUICK を選択してください。導子の温熱機能をご使用にならない場合は、OFF を選択してください。

注意：[TEMPERATURE]は、電源投入後 QUICK を押すと、安全のため5分後は 3 に自動設定されます。また、その後再び QUICK にした場合、1分30秒後に 3 に自動設定され、過度な温度上昇を防ぎます。また、電源を「ON」にした状態で、治療を行わないまま放置しますと15分で自動的に[TEMPERATURE]は OFF になり温熱機能を止めます。

操作方法 2 導子を使用する場合

導子を使用する場合

使用目的

- 筋緊張の緩和
- 神経因性疼痛
- 単部位の痙性抑制
- 侵害受容性疼痛
- 選択的筋力強化
- 麻痺(促通法)

機器の準備

1 本体の設置

機器をご使用になる前に、次の準備と確認を行ってください。
まず、機器本体を平らな安定した場所に置いてください。機器本体裏面のコードボックスから電源コードを引き出し、コンセント（AC100V）に差し込みます。
治療出力調整ツマミの位置を「START」にします。

※ 工場出荷時、治療出力調整ツマミの位置は「START」、治療音声は 1 になっています。

2 導子と水分

導子布面にぬるま湯または水を充分に中まで浸透させ、柔らかくなってから、しずくが落ちない程度に水分をしぼります。

注意：導子に水分がないと通電いたしません。
使用する全ての導子に水分を充分浸透させてください。

3 治療出力端子

中央の＋端子に大きい黄色導子（以下、(＋)導子）を、左右のー端子に小さい緑色導子（以下、(ー)導子）2個を差し込みます。

操作方法 2 導子を使用する場合

4 導子の固定

1.

ベルトは導子を固定する部位に応じて使いわけてください。

導子コードキーパーは使用中のコードが、からまないようにコードの途中2箇所を固定します。

2.

導子の青い布面を治療部位（肩・腰等）に直接固定します。

注意：導子を使用する際に重要なことは、必ず素肌に密着させることです。

3.

付属のベルトは部位にあらかじめ巻いて、その隙間に導子を挟み込みます。肩など固定しにくいところは、ベルトをタスキかけにして密着させるか、衣類と肌の間に挿入して密着させます。

5 電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にしますと、電子音が“ピィ”と鳴り、タイマー表示は 10 が表示され、[AUTO PROGRAM]の UPPER BODY が自動的に選択されます。

6 表示パネル

表示パネルが図のようになっていれば機器は正常に作動しています。

AUTO PROGRAM	UPPER BODY
TENPERATURE	OFF
TIME	10
FREQUENCY(Hz)	3
PRESSING	

治療の種類には大きく分けて、

THERAPY PATTERN SELECTION
AUTO PROGRAM
FIXED FREQ.PROG

の3つの治療方法があります。

[THERAPY PATTERN SELECTION]による治療

[THERAPY PATTERN SELECTION]の特徴

AREA	SYMPTOM	特　徴
NECK SHOULDER	STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHIC PAIN	(10分) たたく速さを変えながら気持ちよくもみほぐします。 (10分) 筋肉運動を抑えて、すばやく痛みを和らげます。 (12分) 交感神経を抑制し、すばやく痛みを和らげます。
WAIST	STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHIC PAIN	(12分) 筋肉運動を適度に与えてもみほぐします。 (15分) 痛みをすばやく和らげ、その効果が持続します。 (15分) 交感神経を抑制し、すばやく痛みを和らげます。
ARM	STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHIC PAIN DISUSE PARALYSIS	(10分) 段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。 (10分) 筋肉運動を抑え痛みを和らげます。 (12分) 交感神経を抑制し、すばやく痛みを和らげます。 (10分) 廃用性筋萎縮を改善・予防します。 (15分) 麻痺した神経の回復を促し同時に筋肉の衰えを防ぎます
LEG	STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHIC PAIN DISUSE PARALYSIS	(10分) 段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。 (15分) 即効的に痛みを和らげ、その効果が持続します。 (13分) 交感神経を抑制し、すばやく痛みを和らげます。 (20分) 廃用性筋萎縮を改善・予防します。 (15分) 麻痺した神経の回復を促し、同時に筋肉の衰えを防ぎます。
ELBOW KNEE	STIFFNESS NOCICEPTIVE PAIN NEUROPATHIC PAIN	(10分) 関節は筋肉組織が少ないので血液等の流れを主にしたパターンです。 (10分) うずきを抑えて、すばやく痛みを和らげます。 (12分) 交感神経を抑制し、すばやく痛みを和らげます。